

学校通信第12号

11月15日



真菅だより 2023

橿原市立真菅小学校 ☎ (22)6300



真菅小学校公式キャラクター

う〜ね

冬の到来

11日、近畿地方で「木枯らし1号」が吹いたと発表がありました。今週は気温が下がり一気に寒さが増しました。冬の到来を感じます。体調や気温に合わせて上着や防寒具を着用するなどして健康管理に気をつけていきたいものです。

『ひと・もの・こと』と出会い、学びを深める

社会の情報化が進み、様々なメディアによる映像を見ることができるようになっています。こうした映像を有効に活用することはもちろんですが、「人に出会い、実物に触れ、実感を伴った理解を深め、多面的に物事を捉える力を育てる」ことは、とても大切なことです。本校では学習活動を進める上で、『ひと・もの・こと』と出会い、学ぶことを大切にしています。

これまで各学年では、生活科や総合的な学習の時間、社会科を中心にゲストティーチャーを招いて話を聞き、様々な体験をしました。また、地域を歩いて自分たちの暮らす町の素敵な所を見つけたり、施設等を見学したりしました。各学年の学習の一部を紹介します。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1年生：いかのおすし一人前（防犯教室） | 4年生：車椅子やアイマスク、手話の体験学習 |
| 2年生：町たんけん「雪の元」見学 | 5年生：国際理解・交流、防災についての話 |
| 3年生：消防署見学、警察の仕事についての話 | 6年生：被爆体験の講話 |



※お名前や写真の掲載については了解を得ています。

社会の国際化は一層進んでいます。広い視野をもち異なる文化を理解するとともに尊重し、共に生きていこうとする力を身に付けることがますます求められています。

10月26日、5年生は国際理解教育として、大原エリザベスさんと出会い、ペルーの文化に触れ、ペルーの自然や言葉、人々の暮らしなどについて学びました。最後には音楽に合わせて、みんなでダンスをしました。エリザベスさんは、

「間違っても、上手にできなくても大丈夫。音楽は心を楽しむためにあるものだから」と話されました。その言葉のとおり音楽に乗って体を動かすうちに、みんな笑顔になっていきました。 **gracias(グラシアス)**

10月23日、6年生は平和学習として、奈良県内在住の秋山勝彦さんから被爆体験の講話を聞きました。秋山さんは、お勤めを定年退職後、被爆体験の語り部を始められたそうです。「二度と戦争をしてはならない。二度と被爆者を生んではならない。」という強い思いがそうさせたのだと話されました。2004年に発行された秋山さんの著書『ぼくの戦争』のあと書きには次のように綴られています。

「広島に原爆が落ちてから、早くも58年の歳月が流れました。ぼくはこの50年間被爆体験を人前で話すことはありませんでした。しかし、ぼくは心のどこかで話したくてたまらなかつたのです。原爆の恐ろしさを、みなさんに聞いてもらいたくてたまらなかつたのです。（中略）絶対に忘れてはならないと思います。……これからも続けていこうと決意しています。」

この思いを受け継ぎ、次につないでいきたいと思います。

宝探しゲーム

集会委員会は「宝探しゲーム」を行いました。

朝休みに集会委員会児童が運動場に宝を隠しておき、中休みにその宝を探してもらうゲームです。11月2日は低学年、7日は中学年、8日は高学年がゲームに参加しました。ゲームを行うにあたり、各学級には次のような手紙が届けられました。

運動場の中にカプセルを隠した。全部で50個だ!! そのカプセルの中にポイントが書いている紙が入っている。カプセルは開けずに教室に持って帰ろう。見つけたカプセルは開けて各クラスで集めておこう。点数が書いた紙とカプセルは集会委員会に回収してもらおう。クラス対抗のゲームで一位から三位まで賞状があるからがんばってくれたまえ。低学年、中学年、高学年で日が分かれている。自分の学年以外は参加してはいけないぞ。同時に取ってしまった場合はじゃんけんで決めよう。けんかがないよう木の上や岩の上など危険なところは隠されてないのでくれぐれも怪我をしないよう気をつけよう。

ゲーム当日の中休み、子どもたちは運動場に集まりやる気満々の様子です。スタートの合図とともに運動場のいろいろな場所に向かって駆け出し宝を探しました。さて、結果はどうなったでしょうか。

集会委員会の皆さん、楽しい企画をありがとうございました。

「かしはら木育プロジェクト」

橿原市では、今年度から「かしはら木育プロジェクト」の取組が始まりました。この取組は、これまで行っていた森林環境教育にSDGsの目標（目標12の「つくる責任、つかう責任」、目標15の「陸の豊かさを守ろう」等）を関連付けて学ぶものです。「木材や木製品との触れ合いを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深めること」や「森林などの自然や木材に触れ、木の魅力を知ることから、環境を守ろうとする意識を高めること」等をめあてとしています。本校では『木育サポートネット』さんの協力を受けて、4年生が図工の『コリントゲーム』作りに取り組んでいます。

授業のはじめに、森林の育て方や切り出し方等を教わりました。また、杉と檜の間伐材を実際に手に取り、かたさや色、においなどを確かめ、それぞれの木の特徴について学びました。図工室には木のいい香りがしていました。その後、奈良県産の檜の間伐材を利用して『コリントゲーム』作りに挑戦しました。作品の完成が楽しみです。

